

科目ナンバー	SEM-3-003-ky			科目名	課題演習I (奥田)		
教員名	奥田 雄一郎			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	本演習では、心理学の専門的な知識・調査スキルを身につけ、生涯発達における“若者の発達・文化・学び”を対象にした心理学研究を行うことを目的とします。 本演習では、様々な心理学諸分野の中でも特に、奥田の専門である以下の3つの専門分野を研究することができます。 ・発達心理学(青年心理学):アイデンティティ、キャリア選択、時間的展望などの青年心理学の基本的領域、サブカルチャーやオタクなどの若者文化、友人関係や進路選択などの現実の問題について研究します。 ・社会文化心理学:ラーニング・コモンズや地域のアートイベントにおける文化のハイブリッドや、新たな文化の生成についての心理学の理論を学ぶと同時に、イベントなどの具体的な実践を通して研究します。 ・教育心理学(高等教育):アクティブ・ラーニングや学習環境デザインなどの大学生の学びを中心として、動機づけ、知能、障がい、いじめ、教育評価といった教育に関わる問題について研究します。 ※認知・社会心理学など、上記以外の心理学分野については、個別に相談してください。						
到達目標	本演習では、自分で情報を集める情報収集力、それらの情報をまとめる整理力、自分が調べたことを効果的に伝えるプレゼンテーション力、そしてそのプレゼンをテーマとしたディスカッションを行うことによる議論力、それらの力の育成を目指します。そして、後期には実際に調査を行うことによって関心を実際に形にするリサーチ力、それらの力の育成を目指します。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力	○	伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力	○	協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性	○	関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	前期はグループ(2・3名)での共同研究を中心にゼミを行います。後期は個人研究のプレゼン指導と論文指導を中心にゼミを行います。各週においてはプレゼンや論文の添削を行い、次回までの修正が求められます。また、夏休み中に2泊3日程度の合宿を行うこともあります(合宿には他大学の学生などが参加することもあります)。以上の教育プログラムによって、心理学の専門的な知識や調査スキルに加えて、社会に通用する資料作成力(ライティングスキル・デザインスキル)、プレゼンテーション力・ディベート力(コミュニケーション力)、リサーチ力(アンケート・インタビュー・データの統計処理)などの修得を目指します。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング		課題解決型学修	○		
受講条件 前提科目	特になし						
アセスメントポリシー及び評価方法	①基本的には課題演習の欠席は認めません。毎回の授業での内容が濃い為、1回欠席するとそのリカバリには数時間の学習が必要となります。そのため、基本的に課題演習では欠席は認めません。 ②各ゼミ生の個人発表のために、2泊3日程度の合宿を行います。(合宿には他大学の教員、学生、大学院生が参加することもあります)。合宿の参加は希望制ではなく単位認定に含まれます。 ③3年次の最後には3年次1年間の研究の成果として1.ゼミ全体での研究の報告書(5000字程度)、+ 2.卒業論文に向けてのレビュー論文(文献研究:10000字程度)を小論文として提出してもらいます。 ④1年の最後にルーブリックを用いた自己評価を行ってもらいます。						
教材	・ゼミにおいては連絡にML・掲示板・Blogを使ったり、分析をコンピュータの統計ソフトで行ったり、ゼミの成果をゼミのHPで公開したりとパソコン、Macを多くの場面で使います。						
参考図書	授業内で適宜提示します。						
内容・スケジュール	顔合わせ・自己紹介 今後のゼミについて 今後のゼミについて フィールドワーク 文献・資料調査 文献・資料調査 調査に向けて 調査に向けて 調査に向けて						

調査
データセッション
データセッション
データセッション
プレゼンテーション
まとめ

Number	SEM-3-003-ky	Subject	Junior Specialty Seminar I		
Name	奥田 雄一郎 (Okuda Yuichiro)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>In this seminar, we will focus on "young people" in life development. The situation surrounding young people in modern society is varied, and therefore, the problems surrounding young people are also varied, such as problems of education such as college education, problems of employment such as job-hopping and NEETs (young people Not in Education, Employment, or Training), or problems of self development and the human relationships of the young people themselves. In this seminar, we aim to investigate how we can approach these kinds of problems from a perspective of adolescent psychology. In this "Junior Specialty Seminar I", we will use newspapers, magazines, the Internet, and books specializing in adolescent psychology to research how young people are described in modern society.</p> <p>By giving presentations, we will think about the characteristics and problems of modern young people. Also, we will have discussions using those materials. In "Junior Specialty Seminar II", I hope to perform a single survey with all the seminar members. Also, in preparation for their graduation thesis, students must not let their own interest end simply as interest. Students will give presentations and have debates about those presentations several times throughout the year so that their interest becomes a research theme.</p>				